

抄 録

福島沿岸海域におけるホシガレイおよびイシガレイ 浮遊期仔魚の採捕記録と食性

和田敏裕・鈴木啓太*

Collection Record and Feeding Habits of Larval Spotted Halibut and Stone Flounder in Coastal Shallow Waters off Fukushima, the Pacific Coast of Eastern Japan

Toshihiro WADA and Keita SUZUKI

水産増殖 61 (1), 127-131 (2013)

東北地方太平洋沿岸におけるホシガレイ浮遊期仔魚 (F ステージ, 体長 10.6 mm, 1 個体) の採捕を初めて記載した。ホシガレイ仔魚はイシガレイ仔魚 (F-G ステージ, 体長 9.5-12.8 mm, 52 個体) とともに福島沿岸海域 (曳網水深 6 m, 水深 16 m) において中層トロールにより 2011 年 3 月 2 日に採捕された。ホシガレイ仔魚はカラヌス目カイアシ類 *Centropages abdominalis* を摂餌していたが, イシガレイ仔魚は主にポエキロストム目カイアシ類 *Corycaeus* sp. を摂餌し, ハルパクチクス目カイアシ類, 二枚貝幼生なども摂餌していた。摂餌されたカイアシ類のサイズは, 口径の大きなホシガレイ仔魚 (体長 1.95, 1.91 mm) の方がイシガレイ仔魚 (体長 0.53-1.16 mm) よりも大きかった。

* 京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所